

社会教育だより

編集・発行:相双教育事務所長 佐藤 由弘



読書活動支援者育成事業相双地区研修会

7月25日(木)南相馬市にある福島県環境創造センター環境放射線センターにて、福島県立図書館図書館資料情報サービス部専門司書の鈴木史穂氏と、新潟市から絵本講師の福島はるお氏を講師としてお招きし「読書活動支援者育成事業相双地区研修会」を開催しました。

この事業は、「学校や図書館等で活躍できる読書ボランティア等の人材育成や資質向上を図るとともに、学校・家庭・地域が連携して子どもの読書活動を推進し、子どもたちの豊かな心や生きる力の育成を図る。」ことを目的としております。

午前は鈴木氏による講話「学校図書館の魅力と本の楽しみ方」、午後は福島氏による講話「そうだったのか！絵本の世界」と演習「みんなで楽しく絵本らいぶ！」を行いました。約50名の受講者は、大変熱心に講話を聞いたり、絵本の読み聞かせに取り組んだりしていました。

以下に、それぞれの講話・演習の概要と、受講者の声をご紹介します。

講話「学校図書館の魅力と本の楽しみ方」 鈴木 史穂 氏

【概要】

読書のきっかけが学校図書館であることが多いということや、子どもにとって身近な図書館が学校図書館であること、そしてその図書館において、子ども達との信頼関係が築けるというお話がとても印象的でした。また、読書会やビブリオバトルなどについてのお話やブックトークを実演いただいたことで、大変分かりやすく本の楽しみ方を学ぶことができました。



【受講生の声】

- 改めて身近な人から本をすすめること、本を知ることの大切さを感じた。
- 子どもたちが自分の足で歩いていける所にある図書館は学校なんだと改めて学んだ。学校の図書コーナーの整理や学級文庫の整理、子どもたちへの本のすすめ方を、より学んでいかなければと思った。

講話「そうだったのか！絵本の世界」・演習「みんなで楽しく絵本らいぶ！」 福島 はるお 氏

【概要】

絵本とは「大人が子どもに読む本」、「家で子どもに読む本、そしてなにより、「親子のコミュニケーションツールである」ということ、そのため、「何をどうやって読むのかは考えなくていい」という言葉が印象的でした。演習では、各自が持ち寄った絵本をお互いに読み聞かせをし、楽しく交流することができました。



【受講生の声】

- 絵本は親子のコミュニケーションツールなので、私自身、自分の子どもにこれから全力で読み聞かせをしていきたいと思う。
- 久しぶりに絵本で笑った気がする。学校に戻って、また、子育ての場面でも活かせることを多く学べた。

相双遊学ツアー2019inいわき

7月31日(水)～8月1日(木)、いわき市のいわき海浜自然の家にて、「相双遊学ツアー2019inいわき」を開催しました。

この事業は「小学校5・6年生を対象に1泊2日の宿泊体験研修を実施し、地場産業や伝統文化体験を通して、地域への愛着を深めるとともに、次代を担う人材を育成する。」ことを目的としております。

1日目は海浜サイクリングや砂の芸術、ナイトハント、2日目には防災教室や地元食材を使った野外での料理体験、そして大堀相馬焼の陶芸体験をしました。2日間とも天気にも恵まれとても暑かったのですが、参加した児童は元気いっぱい活動し、楽しい思い出を持ち帰ったようです。

では、参加者及び保護者の皆様の感想をいくつかご紹介します。

サイクリングも砂の芸術もナイトハントも、みんなと楽しめたから良かった。防災に備えることの大切さも学べたから「遊学ツアー」というのはとてもいいと思った。(6年女子)



知らない学校の人と友達になれたので、友達が増えてよかったです。全てのイベントが楽しかったです。また行きたいです。スタッフのみなさんありがとうございました。(5年男子)

サイクリングやナイトハント、いろいろな行事がおもしろかったので、来年も参加したいです。今後もこの活動を続けてほしいです。(5年女子)



特にサイクリング、ナイトハント、大堀相馬焼が楽しかったです。大堀相馬焼に関しては、めったにできない体験だったので、よかったです。(6年男子)

娘達には、もっとたくさん児童と交流してほしいと思い参加させました。もし可能なら、1泊2日ではあっという間に過ぎてしまうので、もう少しいろいろな子供達と触れ合えるように宿泊活動日数を増やして欲しいです。(保護者)



いろいろ自然の中で体験出来、成長もしたと思います。ありがとうございました。ただ、連絡のとりようがなく時間が遅れたりなどの際に、メールなど対処してほしいかったです。心配になりました。(保護者)

1泊2日の中で色々な体験をできるとてもよい内容だったと思います。「楽しかったよ。」とバスを降りるなり言っていました。(保護者)



お金が少しかかっても良いので、おやつやアイス等のお楽しみがあってもいいかな、と思いました。暑い中大変お世話になりました。(保護者)

他にも、プログラムの内容や施設面、暑さ対策などに関するご意見もいただきました。今回の反省を生かし、次年度さらに充実した遊学ツアーが実施できるように企画していきたいと思っております。

参加してくださった皆様、本当にありがとうございました。